

平成25年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	災害復旧事業(公共土木施設)			
予算科目	11 款	2 項	1 目	
総合計画での位置付け	都市基盤の整備 道路・交通基盤の整備			
所管課情報	担当課:	道路河川課	電話番号(内線):	0
記入者情報	所属長:	上坂 博一	担当責任者:	木曾 信之
実施期間	【開始年度】 平成 18 年度 【開始年度】 設定なし			
事業の対象	公共土木施設災害			
事業の必要性	市道・河川・水路等の被災により、支障を来しているため、再度災害を防止すべき、早急に復旧して安全に寄与する必要がある。			
施工方法、場所	【施工方法】	設計委託業務、請負工事	【施工場所】	伊予市全域
運営方法	【運営方法】	【運営費(予定)】		
事業の目的	異常な天然現象により生じた公共土木施設災害で、施設が被災した箇所を原則、原形復旧として機能回復を行う。			
事業の内容	市道・河川・水路等の公共土木施設の被災ヶ所の機能回復を行う。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	関係機関、関係者と協議し、早期に着手し復旧を図る。			
改善策の 具体的 取り組み	小規模被災箇所の早急な施設の復旧については連絡系統、実施方法手順の確認を事前に地域事務所と行い、より早い対応が行えるよう取り組んでいる。			

事業費及び財源内訳					
項目	24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算	
事業費	直接事業費	16,920	4,275	0	3,830
	人件費	2,399	813	0	813
	合計	0	5,088	0	4,643
人件費 内訳	人工数	0.30	0.10	0.00	0.10
	人件費単価	7,999	8,136	8,136	8,136
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	2,399	813	0	813
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	19,319	5,088	0	4,643

実施スケジュール							
項目	24年度以前	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降
工事請負費	16,174	578					
事務費・工事雑費							
委託費	2,520	462					
賃金(人夫賃金)		1,670					
機械等借上料		1,120					
年度別事業費	18,694	3,830					
財 源	国・県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	18,694	3,830				
国・県支出金等名称							0

成果指標					
成果指標					0
指標設定の考え方	突発的であるため指標設定は行わない。				
区分年度	24年度	25年度	26年度		
目標	0	-	-	0	
実績	-	-	-	-	

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	被害の大小によるが、被災箇所数が多い崩土においては、地元住民の応援をもらって早期対応ができる対応ができたことは一定の評価ができたと考える。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	災害により通行止めとなり、迂回路のない路線から順次、崩土除去、復旧作業を進める必要がある。地域住民が求めている1日も早い通行止め解除。そのためには、請負工事指名願いの提出なき土木業者であったり、地域住民の作業労務であったり、あらゆる手段にて迅速な対応をすることも必要である。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	